

調布大好き!

本号は9月議会



みみチャンネル

NO.30

2000.10.10 発行

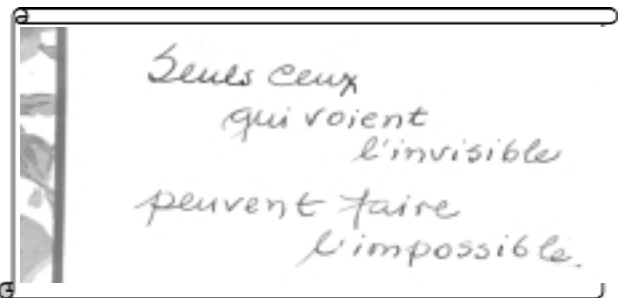
元気派市民とみとこの会 調布市深大寺北町 1-31-1
Tel&Fax 0424-88-4137 <http://www.ops.dti.ne.jp/> genkiha/

市民サービスの拠点である公益施設はみんなの財産。計画的な維持管理で大切に活用しよう!

大河みとこは市民が安心して暮らせる「調布」のまちづくりのために活動していきます



アイスランド・フィンボガドッテル前大統領（世界初の女性大統領）と夕食会にて



フィンボガドッテル、アイスランド前大統領座右の銘（自筆サイン）「見えないものが見える人は不可能を可能にできる」

暮らしを担う女性の声を生かして

笑顔輝くまち調布

今夏は女性の政治参画が最も進んだ北欧の国々を訪れました。アイスランド、フィンランド両国は女性大統領です。それぞれに高度情報化の先進国でもあります。女性が社会の半分の責任を負って働く姿は自然です。未来を暗くするような多くの社会問題を抱える今、より建設的な課題解決のためにも女性が社会に向かって提案し責任を負っていく生き方が求められています。少子高齢化時代、現場をよく知っている人の声に課題解決の力があります。意志決定の場に暮らしからの提案を取り入れていく努力が必要ですが、調布の基本構想にある「みんなで作る笑顔輝くまち調布」も読み替えれば、男女共同参画社会を求めた言葉です。構想の精神を実現したいと考えます。

調布市議会議員 大河みとこ

主なニュース

- 調布グリーンホール使用料値上げ・・・2
- 北欧スタディツアー報告・・・4、5
- 「世界の元気な女性達」・・・6、7
- 調布市福祉施設見学会報告・・・6、7
- 「21世紀のまちづくり」に市民参加を・・・8

「平等参画・福祉・平和を考える」 北欧スタディツアー（自費参加）

～アイスランド・スウェーデン・フィンランド～

（財）市川房枝記念会主催

報告会のお知らせ

11月26日（日）13:00～16:00

調布市文化会館たづくり 1001 学習室



シンクヴェトリル国立公園で（アメリカ大陸とユーラシア大陸の全長11kmの自然の割れ目。2大陸をまたにけるみとこ



今、珍しく湿疹に悩まされています。一昨年からは流行りのアレルギー性鼻炎に…。地球環境に異変が起こっている兆候に対し身体が反応するのかと考え込んでいます。(みとこ)

みとこの議会レポート

子育て支援の拠点、子ども支援センター

「すこやか」条例が可決しました。

平成十二年
調布市議会第三回定例会
九月十三日～二十七日（十五日間）

調布市子ども家庭支援センター

「すこやか」条例

全会一致で可決



条例は子ども支援センターの設置条例が主な内容です。調布の子どもがすこやかに育つための新たな拠点として生まれ、インターネットを活用した子育て支援や子どもショートステイ、トワイライト事業など、働く親にとって必要なサービスも多く含まれています。実際に動き始めてから、ニーズにあった柔軟な運用を図っていくという考え方に賛成しました。調布市として「子ども政策」に関しビジョンを持ち、理念を具体化するための事業として、各政策に対し今後の位置づけを要望しました。

調布市グリーンホール条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

元気派市民の会・賛成



老朽化したグリーンホールの改装が終了しました。グリーンホールの使用料は、昭和五十二年開館以来値上げせずに現在に至っています。今回の平均値上げ率は大ホール20%、小ホール23%、その他38%です。ちなみに小ホールは今まで午前平日（9時～12時）七千円が九千円となりました。近隣の同規模施設三鷹芸術文化センターは一万円です。今まで値上げがなかったため今回の大幅値上げにつながったものの、近隣の同規模施設と比較しても妥当な範囲のものと考え賛成しました。公共施設の料金の基準が今後求められると考えます。

誰も安心して利用できる

介護保険制度のために、改善を求める意見書

賛成少数で否決

元気派市民の会・反対



介護保険制度が始まり、様々な問題が起こってきました。各市の対策もばらばらです。問題が多い制度ではあります。問題が多いため、まず制度確立と広報活動等を通して、どのように保険制度として定着させるかが問われています。福祉的な問題解決全てを介護保険制度のなかで行うのは無理と考え意見書に反対しました。

浜岡原発の安全確保に関する意見書

賛成少数で否決

元気派市民の会・賛成



この意見書では予想される東海地震に対し、安全確保のための原発の停止も含めた点検を求めています。判断に苦慮しましたが、未解決である地球環境への問題、廃棄物処理の

みとこの一言

「市議会だより」を読んだ市民の方から、国会で審議中の内容を市議会が同時期に意見書として採択、提案する意味を問われることがあります。市議会での議員提案は、主に国等関係機関への意見書がほとんどです。実際には議会最終日の間に各会派から様々な意見書が提案されますので、政党に所属しない私は非常に限られた時間の中で悩みに悩んで国会等で審議されている問題について市民としてどう考えるかという結論を出しています。議会終了の間に提案され、本会議では提案者からの説明もなく、質疑は省略、賛成多数で即採択という形式を調布市はとっています（他市においては全会一致を原則にしている議会もあります）。議会を膨張した市民には、なぜその意見書が調布市議会の総意、つまり調布市民の意見として国や関係機関などに提出されるのか腑に落ちないところです。地方分権が叫ばれている時、調布市として意見表明していく緊急性、重要性が理解できる内容を意見書に求めたい、そして市の総意とするに値するプロセスを意見書の取り扱いに求めたいと思います。市民が市議会に求めている議論すべき問題は何か、秋の深まりよりもなお深く考え込む大河です。

みとこの活動日誌



- 7月 4 「広がるNPOと自治体の協働領域」学習会
- 5 調布まちづくりの会定例会
- 8 カレッジランポ・自治基本条例等学習会
- 国際公会計学会「市民にわかる財政ディスクロージャー部会」報告会
- 9-10 財政研究会合宿「地方分権改革と地方財政改革課題等」
- 11 北欧スタディツアー事前学習会
- 12 市議会だより委員会
- 13 「行政評価」関連学習会
- 15 「アメリカの入札制度について」研究会出席
- 16 つくば市へ花いっぱい運動見学会参加
- 18 講想日本(J.I.フォーラム)主催「地域から国をつくる」にパネラーとして参加
- 20 道とみどりを考える会総会出席
- 21 環境保全審議会出席
- 21-22 市川房枝政治参画セミナー「予算研究」「地方自治体の財政改革の視点」
- 22-23 地方議員行財政自主研究会
- 24 「公共入札問題」学習会
- 27 調布市都市農政推進協議会総会
- 30-8/9 北欧スタディツアー参加
- 8月 18 市内福祉施設見学会打ち合わせ
- 19 深大寺児童クラブ保育問題で保護者の方と話し合い
- 21 元気派市民の会主催「市内福祉施設見学会」
- 22 福祉環境委員会・議会報告会
- 23 「転換期に立つ男女平等問題」学習会参加
- 24-25 自治体学会・長岡大会参加
- 26 国際公会計学会世話人会
- 9月 1 防災訓練
- 2 障害者計画中間報告会参加
- 3 市民体育祭開会式
- 5 中央区複合施設「マイホームはるみ」視察幹事長会
- 9-10 国際公会計学会第3回大会参加(於、九州産業大)
- 11 調布市新基本計画策定のためのワークショップ参加
- 13-27 9月議会開会
- 21 市川房枝記念会政治参画セミナー「平和・平等・福祉 北欧に学ぶ」
- 24 ユニホッケー市民大会観戦
- 27 第39回J.I.フォーラム
- 「キーワードはNPO！」出席

福祉環境委員会報告

児童クラブの入会に関する

陳情

(賛成多数の趣旨採択)



継続審議になっていた「深大寺児童館の児童クラブへの入会に関する陳情」は多数で趣旨採択になりました。定員を大幅に増加しても不足する受け入れ態勢の中で、次年度放課後の遊び場対策として北ノ台小学校の余裕教室に「ユーホー」設置の方向、北部地域の児童クラブ分室へ向けて市の努力も委員会審議の中で具体的に見えてきました。早期全員入会は難しいですが、市の今後の事業の基本計画等が具体化

する時期です。子育て支援に関する保護者の思いを受け止め、今後の施策にしっかりと反映させることが必要と趣旨採択に賛成しました。

平成十二年度補正予算について

(全会一致で原案了承)



補正予算の審議では福祉施設の改修工事費等、施設整備に関するものが多く見受けられました。財政悪化の状況で、ぎりぎりまで我慢していた末の公共施設の補修費という説明内容です。補修費は必要経費なので補正予算には賛成しました。しかし、施設のボイラー

本体の交換、雨漏りで限界の屋根の例など、定期的に各施設の補修計画が立てられていけば緊急事態での補正とはならなかった内容が目につきました。公共施設にメンテナンスは必須、補修計画に基づいて定期的に行うことで安定した市民サービスが可能になります。公共サービスの安定に欠かせない施設メンテナンス計画書を作成し計画的に実施すること、今後は当初予算に必要経費として計上することを質疑の中で強く要望しました。



仙川駅周辺地区地区計画・緑地一号新設の推進に関する陳情

全会一致で採択



仙川地区地区整備計画で緑地指定の箇所を、市と取り交わした契約書に反して地権者が駐車場にした問題について、近隣住民から出された陳情です。地区計画決定にあるよう約定書にも記載された内容を地権者に遵守して欲しいという陳情はもつともな事なので採択しました。今後まちづくりを進める上で、市民側に立った市の毅然とした態度こそ求められると考えます。

みとこの北欧スタディーツアー報告

市川房枝記念会主催・岡澤憲芙早大教授同行のアイスランド・スウェーデン・フィンランドスタディーツアーに自費参加しました。

7/30～8/9「平等参画・福祉・平和を考える」というテーマで21世紀の課題である少子高齢化、環境問題に積極的に取り組んでいる国を訪問、レイキャビク・ヘルシンキ・ストックホルムなど各都市もまわりました。21世紀の課題解決に果敢に挑戦し今や高度情報化時代の先端を行く各国です。その背景の基本は情報公開です。そして生活的、経済的、精神的に自立した個人の存在から生まれる国際的、地域間、世代間、男女間連帯により、諸政策が効果的に推進されていることも理解できました。アイスランドでは西暦930年に地域の課題を戦いではなく話し合いで解決しようと、岩場の荒地に各島から集まったという世界初の民主議会・アルシング(法の岩)発祥の地に立ちました。千年以上前の民主的萌芽に驚き感動したと同時に、議会の原点をあらためて教えてもらった気がします。民主的議会に必要なもの、それはりっぱな建物でも形式でもなく、人々が幸せに生活できるよう情報を処理・選択し、地域の意志を決定しようとする強固でたゆまぬ試みなのです。 **大河みとこ**



レイキャビク市長



レイキャビク市迎賓館



レイキャビク市主催歓迎レセプションにて

歓迎レセプションのお礼にゲストを招いての夕食会にて
(レイキャビク市長補佐官とともに)



スタディーツアーの行程

1日目 (7/30)	成田 10:55 発 所要 10 時間 30 分 ヘルシンキ経由 コペンハーゲン 18:25 着 ホテルへ	コペンハーゲン(泊) (デンマーク)
2日目 (7/31)	午前中コペンハーゲン郊外の見学 コペンハーゲン 14:25 発 レイキャビク 15:35 着 市内へ	レイキャビク(泊) (アイスランド)
3日目 (8/1)	ケリズの火口湖 グトルフォスの滝などを経て 世界初の民主議会の地アルシングのあるシンク ヴェトリル国立公園へ	レイキャビク(泊) (アイスランド)
4日目 (8/2)	午前中アイスランド大学にてフィンボガドッテ ル前大統領と会見後、各教授より講義を受ける。 アイスランド国会、高齢者施設などの視察	ケフラヴィーク(泊) (アイスランド)
5日目 (8/3)	レイキャビク 7:40 発 ストックホルム 12:35 着 ストックホルム市内見学・国立図書館など	ストックホルム(泊) (スウェーデン)
6日目 (8/4)	グループホーム、高齢者施設等の視察 NGO 団体との交流 スウェーデン国会見学(岡沢先生の講義)	ストックホルム(泊) (スウェーデン)
7日目 (8/5)	ウプサラ大学、リンネ植物園、ハマツルト 墓所 ストックホルム 17:00 発 シリア・ラインの船でバルト海を渡る	船内(泊)
8日目 (8/6)	ヘルシンキ 9:50 着 市内・近郊等の見学	ヘルシンキ(泊) (フィンランド)
9日目 (8/7)	午前中、女性リーダーとの懇談、フィンランド 国会、高齢者施設の視察(岡沢先生の講義)	ヘルシンキ(泊) (フィンランド)
10日目 (8/8)	美術館、図書館等の視察 ヘルシンキ 17:20 発 帰路へ	機内(泊)
11日目 (8/9)	成田 8:55 着後解散	



ストックホルムにて女性平和団体と交流する。8/6彼女らは日本の原爆で亡くなった人の霊をなくさめるために毎年ろうそくを灯すという、心打たれる話だった。



カンピ情報センター(サービスセンターと併設)市の全ての情報が得られるようになっている。



ヘルシンキ市立カンピ・サービスセンター(市営老人福祉施設)市内中心地に設置されている。使用料無料、サービス内容は食事・サウナ・サークル活動等。施設にはデイケア・美容室・銀行・相談センター・ケアハウス・市情報センターが併設されている。



フィンランド議会、建物は1931年設立。大統領・議院内閣制で一院政・比例代表制で定員200名。現在大統領、議長共に女性。

一民主議会発祥の地・アイスランドの女性に学ぶ

市長等の激務も軽やかにこなすアイスランドの女性達、「社会の半分の責任を負う」その生き方は美しく衝撃的でした。私は米ソ首脳会談を実現させ世界平和に貢献した政治家フィンボガドッテル前大統領とも話す機会を得ました。その際、政治家として何を心の糧とし、どう困難を乗り越ってきたか質問しました。嫉妬もあるような状況で全ての人からの支持は困難であるが「神のご加護を」と相手のために祈ったこと、小説や子ども達が疲れを癒してくれた事なども話してくれました。政治家としての座右の銘は「見えないものが見える人は不可能を可能にできる」と語った彼女。政治における自らのテーマ・ビジョンを持ち挑戦することが重要だと強調しました。自分の目指す政治目標を問い直す時間を持ちたかった私には、政治に真摯に取り組んできた前大統領の活きたひとこと一言が、これからの自分を支える「心の糧」となった収穫の旅でした。



アイスランド国会議事堂にて、法務大臣を囲んでツアー参加者全員と(アイスランド国会の35%が女性議員、大臣の三分の一は女性)



写真右側がフィンランド男女平等オンブズマン、男女平等法についてのオンブズマンである。オフィスに15人のスタッフ(内6人が弁護士で、その中には国の特別委員会である男女平等委員会に席を置く国会議員も含まれている)がいて、男女平等に関する問題の相談を国民誰もが無料でできる。



米ソ首脳会談が開かれたフロアに立つ(レイキャビク市迎賓館)

アイスランド・フィンボガドッテル前大統領を始めアイスランド大学での講義を聴く。



教育学教授(女性党元国会議員)

「人類の将来の予想」に書かれている「次の世紀は女性の世紀」というメッセージを前大統領は伝えてくれた。



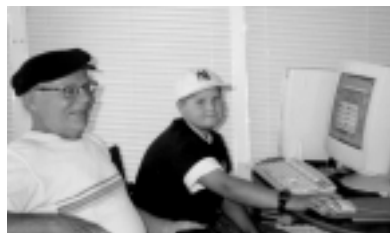
政治科学教授(レイキャビク審議会メンバー)女性の政治参画について



アイスランド前大統領と



社会科学教授(男女平等委員会メンバー)



カンピ情報センターで孫とパソコンを学ぶ男性。市内には同様な情報センターがありパソコンの扱い、携帯電話の使い方なども指導員が教えてくれるという。(ヘルシンキ)



スウェーデン、ビルトレット・サービスハウスで質疑応答



世界最古の民主議会発祥の地に立つ(岡澤教授、山口みつ子さんと共に)。参加者に聞こえるよう岩場に向かって話したといわれる。

介護老人保険施設「いなほ」



「いなほ」正面玄関



施設長井上さんの話しに聞き入る参加者達

染地の日活撮影所並びに今年3月にできたばかりの新しい施設です。明るい色使い、広い廊下、各部屋には理事長のこだわりで楽器の名前が付けられています。職員の明るい声掛け、おむつ交換やお風呂の回数の多さなどきめ細やかな対応、アットホームな雰囲気印象的でした。朝のお茶は、皆さんおしゃれに「入れたてコーヒー」だそうです。こういう環境の中で多くの入所者は健康状態が良くなっています。要介護認定の人が利用できます。入所定員は55名。



「ちょうふだそう」の入口にて

福祉・リサイクルショップ

「ちょうふだそう」

布田の旧甲州街道沿いに今年5月にオープンし、市民から提供されたりサイクル品と福祉作業所の作品を販売しています。きちんと手入れされた家具電化製品、手工芸品や焼きたてパンが買えます。喫茶コーナーもありますので是非一度のぞいて見て下さい。



調布市内の施設を見学したんだ。たくさんさんの情報を集めて、自分でも勉強しなくちゃダメだね。

介護老人福祉施設「ちょうふの里」

知的障害者援護施設の隣に位置し、特別養護老人ホームには100床ショートステイに20床のベッドがある大きな施設です。生活支援のひとつとして、地下にある厨房では「配食サービス」も行い、在宅介護支援センターも併設されていますので、相談してみてください。洗濯室では、洗濯物たたみのボランティア募集中。夏には、知的障害援護施設とお隣同士の盆踊り交流を楽しんだそうです。



「ちょうふの里」パンフレット

携帯電話の機能を使いこなせすたびたび「??」の連続。「G線」上のエリアが自分のための着信音であることを忘れ聴き惚れたり、困ったな。(みとこ)



元気派市民とみとこの会・施設見学報告

8月21日(月)調布市のバスを利用して市内4ヶ所の福祉施設を見学しました。当日は猛暑にもかかわらず小学生から80歳代まで多くの方が参加し、説明に真剣に耳を傾けていました。各施設では、若い人たちが明るく元気に働いている姿に感銘を受けました。

お忙しい中、対応して下さった職員の皆様、ありがとうございました。

「なごみ」リビング・ダイニング/家族的な雰囲気を楽しみながら食事をとることもできる。

知的障害援護施設

調布基地跡地利用計画の一つとして計画され、今年4月に事業を開始しました。生活の場「なごみ」では、18歳～54歳の人達が生活しています。今まで入所施設は遠隔地にしかなく、家族と離れての生活でしたが、自分の町で安心して暮らせるようになりました。

活動の場「そよかぜ」、福祉的就労の場「すまいる」では陶芸、機織り、パン作りに頑張っていました。「すまいる」で作られたパンは通所棟1階入口及び「ちょうふだぞう」で買うことができます。また地域交流スペースを設け、地域の方々とのふれあいのきっかけ作りもしていますのでぜひ立ち寄ってみて下さい。パンもとてもおいしかったです。



「なごみ」地域交流スペース/多目的に利用できるスペース。施設を知ってもらい、地域との交流のきっかけに。地域活動にも開放されている。



「すまいる」内の機織り作業室



「すまいる」内パン工房

これからの課題

今回見学できなかった市内の他の老人保険施設を含め、これらの施設に入所できるのはごく一部の人です。今後の課題として施設の数や内容の充実はもちろんですが、ますます高齢化が進んでいく中で、健康で暮らし続けるための総合的な健康施策が求められます。自分のまちで最後まで安心して暮らしたいというのはみんなの願いです。地域では市民自らが担い手となって支え合う活動も芽生えてきています。公と市民が協力して、健康な老後を迎えるための『予防』の必要を痛感しました。

市内施設見学会に参加して

今年度から介護保険が始まったとは言え、参加申し込みをした時点では、高齢者福祉施設は自分にとってあまり身近なものではありませんでした。ところが皮肉なことに8月初め、郷里で一人暮らしをしている私の母が家の中で転倒して背骨を圧迫骨折し、身動きがとれない状態になってしまいました。ふだん元気に働いている母が動けなくなるなどは考えたこともありませんでしたが、母ももうすぐ70歳。病気にならなくても、ちょっとしたことで転びやすくなる年齢に達していたのです。幸い母も順調に快復しましたが、いざという時ができるのか、何もわかっていないことに気づき、今回の老人施設の見学会に急に熱が入ってしまいました。実際は希望する何割の人がこれらの施設を利用できるのでしょうか。介護保険は始まり、払うものは払っていながら、何も知らない自分を、今回の見学会で思い知りました。制度や施設の現実についてまだまだ勉強することがいっぱいです。 深大寺元町在住 田岡匡子

パンにマヨネーズ+海苔+じゃこ+白コシマ+溶けるチーズを順番にのせトーストすると骨粗鬆症予防にもなる美味しいおやつができます。よかったですらお試しください。(みとこ)

中央区立晴海中学校の世代交流型複
合施設見学に行ってきました



中央区教育委員会の方と横須賀市議矢島まちこさんと

特別養護老人ホーム・保育園・中学校が一体化した世代交流型複合施設(平成3年オープン)を見学。かなりお金のかかった施設だが、子ども達が落ち着いて静かに授業を聞く姿が印象的だった。福祉と教育の施設を併設したメリットが生かされた運営に、今後の施設のあり方を見た視察だった。

第3回国際公会計学会九州大会に参
加しました



学会会長・九州産業大学教授吉田先生と

公会計のあり方に関連した「地方債格付けからみた自治体の評価」についてのシンポジウムがあった。行政評価とバランスシートの連携、公会計が調整すべき利害関係等、財政再建が注目されている時、今後行革を進める調布市の財政を考えていく上で参考になる発表を聞くことができた。

伝言板

ちよっとみみよりな

次の議会は十一月八日頃からの予定です。大河みとこは一般質問を行います。是非傍聴に行きまじょう。
詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。
(tel)0424-81-7291)

元気派ミーティング (議会報告会)

11月7日(火)

19:00 ~ 21:00

於: 深大寺地域福祉センター

第一集会室

みんなきてね。



年末恒例! 手作りリース講習会

11月29日(水)

13:30 ~ 16:00

深大寺地域福祉センター

材料費実費負担有り

伝言コーナー

「調布市のまちづくりに直接参加」市では市民の声をまちづくりに生かすため、意見・情報交換の場を設けています。毎週金曜日午後7時~9時、市役所一階市民フォーラム室にて、問合せ/(81)7369 政策室

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

編集後記

秋と聞いて想い浮かべるのは食べ物ばかり(柿・栗・さんま...)。あ、私肥ゆる秋...(ちはる) みみちゃんネルも毎日の生活もスツキリとするのは難しい。(まさこ)

震災が日常化してくると、火山列島に住んでいることを実感。避難している人の疲労感を感じて胸が痛みます。(みとこ)

30号を迎え元気派のパソコンも老朽化、ついにリタイアか!? 何とか第一の人生を考えてあげたい。(みふゆ)

連絡先・元気派市民とみとこの会

〒182-0011 調布市深大寺北町

☎03-3110-1

TEL&FAX 0424(88)4137

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。

会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
口座番号 00180-5-577951

加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみちゃんネル」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他



風邪を引く人も多い季節です。熱い飲み物がうれしい季節ですが、温かい言葉はそれ以上に人の心を温めるものだと最近痛感しています。(みとこ)